千葉大学医学部附属病院精神神経科で血液試料を用いた研究に参加された患者の皆様、ご家族の皆様、健常者の皆様へ

２０２６年８月２１日

精神神経科

精神神経科では、「精神神経疾患の臨床遺伝学的研究」を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

（１）２０１７年１０月～２０２３年３月の間に「生体および神経画像バイオマーカーを用いたうつ症状の鑑別診断法の開発に関する研究」

（２）２０１４年８月～２０１７年１０月の間に「血液バイオマーカーを用いたうつ病と双極性障害の鑑別診断法の開発に関する研究」

（３）２０２２年１０月～２０２６年３月の間に「双極性障害女性のオキシトシン系システムの検討」

これらの研究は当科に外来受診された患者さんと入院治療を受けた患者さん（疾患名が「抑うつ障害群」「双極性障害及び関連障害群」「緊張病」「抑うつエピソード」のいずれか)、また健康人（健常者）の方を対象に、同意のうえ血液のご提供をいただいた研究となります。

１．研究課題名

「精神神経疾患の臨床遺伝学的研究」

２．研究期間

２０２４年承認日～２０２７年３月３１日

この研究は、千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

３．研究の目的・方法

本研究は精神疾患（お薬の治療による副作用も含まれます）の病態を解明することと、さらに新たな治療法の確立を目指すことを目的としており、当科で治療を受けられる患者さんと健康人の方の生体試料（血液・毛髪・爪・口腔粘膜）から採取した遺伝子の解析、また血液中のタンパク質やアミノ酸など微量物質の測定を実施する内容です。タンパク質解析では、血液中のタンパク質・アミノ酸・モノアミン・治療薬の濃度などを測定し、臨床症状との関連を検証します。

ただし、本文書が対象となる上記 3 研究にご参加された患者さんの血液は、「精神神経疾患の臨床遺伝学的研究」においても、タンパク質やアミノ酸などの微量物質の測定に活用され、遺伝子解析に活用されることはありません。

４．研究に用いる試料・情報の種類

（１）当科で保存中の血液試料

（２）患者さんの情報：診療記録より、以下の臨床情報を収集します。

・年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙・違法薬物歴など）、教育歴、職業歴

・精神疾患の診断名、過去の治療歴、病状の重症度や経過、治療薬の副作用、併用薬、既往歴、家族歴

・血液学的検査等の臨床検査結果

（３）健康人の方の情報：

・年齢、性別、生活歴（飲酒・禁煙・違法薬物歴など）、教育歴、職業歴、既往歴

５．研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学大学院医学研究院精神医学	竹内　啓善

６．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院精神神経科~~および各研究機関~~において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細

については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）

７．研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口
〒２６０－８６７７
千葉県千葉市中央区亥鼻１－８－１
千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥　精司）
精神神経科　教授　竹内　啓善
０４３（２２２）７１７１　内線６８６３